

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書（要件1）

令和7年12月1日

所在地 山梨県北杜市高根町下黒澤 2014 番地 1
企業名 一般社団法人ヤマネ・いきもの研究所
代表者 湊 秋作

当社は、SDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた経営方針等

ヤマネ・いきもの研究所は、「人と自然の共生」を理念に、生物多様性保全と環境教育を通じて持続可能な地域社会づくりに貢献します。ヤマネと里山のいきものの研究を基盤に、産官学民の連携によるアニマルパスウェイ等の推進や、自然を学ぶ教育活動を展開し、SDGs目標4・15・17の達成を目指します。

3側面 (主な分野にレ)	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日： (進捗率)	
✓環境 ✓社会 □経済	ヤマネ・いきもの研究を通じた生態系の保全と、生物多様性への理解促進	ヤマネの生息地調査・モニタリングを毎年継続し、その成果を論文などで3本発表します。		(進捗率)
✓環境 ✓社会 □経済	地域の自然を題材とした環境教育プログラムの実施による、愛郷心と自然観の育成。	小学生・高校生・市民など対象の生物多様性教育を計12回ほど実施します。		(進捗率)
□環境 ✓社会 ✓経済	ネイチャーポジティブと自然共生サイトの実現に向けて、研究・教育・連携を通じて地域社会に貢献。自然への理解を深める講座や環境教育を推進し、産官学民が協働するアニマルパスウェイなどの啓蒙・推進により、生物多様性と地域経済の循環を促進します。	地域企業・自治体・教育機関との連携の提案を2030年までに3件行います。		(進捗率)

2030年の目指す姿

ヤマネ・いきもの研究所は、研究・教育・連携を通じて「自然と共に生きる社会」の実現を目指します。ヤマネ研究による森林生態系の保全を進め、地域の自然を活かした環境教育を全国に広げ、多様な主体と協働して生物多様性を守る持続可能な地域づくりを推進します。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第3号）「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」（要件2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。